

海外インターンシッププログラム

派遣国・都市名	アメリカ ワシントン州 シアトル
研修先	兵庫県ワシントン州事務所
プログラム実習期間	平成 28 年 8 月 22 日～平成 28 年 9 月 9 日
学部/研究科・学年	法学部 4 年

インターンシップ就業実習 報告書

私は8月22日から9月9日にかけて兵庫県ワシントン州事務所（以下、HBCC と表記）にてインターンシップのプログラムに参加しました。将来は海外でも働いてみたいと漠然と考えていた私自身にとって、このプログラムはとても刺激的で忘れられない思い出となりました。本報告書では、私がこのインターンシッププログラムで何を行い、何を学んだかということについて皆様にシェアしたいと思います。

そもそも、私が本プログラムでお世話になった HBCC とはアメリカのワシントン州シアトルにある兵庫県の事務所です。主に、現地で兵庫県に関する文化交流の促進やビジネス支援などを行っています。HBCC に所属するスタッフの方は現地スタッフの方を含め3名いらっしゃいました。その他にも、私と同じようなアメリカ人のインターン生もいらっしゃいました。アメリカ人のインターン生は今まで日本語を勉強したことがあり、日本で英語の先生をしていたことがあるなどの経験をお持ちの方々でしたので、話しやすかったです。そして、私は HBCC で主に3つのことに取り組みました。一つ目は、日本からシアトルにいらっしゃる学生を迎えることです。二つ目は最も重要な業務である Japan Fair での HBCC のブースの企画運営です。そして、最後はシアトルで働く日本人の方々と交流を行うということです。以下、このプログラムのメインの仕事である Japan Fair の準備について記述します。

そもそも、Japan Fair というのは、シアトルの隣町であるベルビューというところで行われるイベントのことで、ここでは、日本に関する様々なパフォーマンスが行われ、ブースが出店しています。HBCC もこの Japan Fair でブースを出店し、兵庫県を現地の方々に PR するということを目的としていました。この業務はこのインターンシップで核となる業務だったので、アメリカに行く前から、もう一人の神大生のインターン生とどのようなことをするかについて話し合いを行ってきました。そこで、私達は主にブースでの出し物として3つのことをしようと話し合いました。それは、パネル展示とゲーム、パフォーマンスの3つです。パネル展示では、ブースに大きなパネルを設け、そこに私達が兵庫県について特に PR したいことを展示するというものです。そこで、私の育った町であるというたっの希望もあり篠山と、もう一つは B 級グルメを取り上げようと話し合いました。この二つに共通する点は、どちらも魅力あるコンテンツではあるが外国の方への知名度は低いということです。そこで、Japan Fair を通してより多くの方々が兵庫県の知名度は高くないものの魅力あるものに興味を持ってもらおうと思いました。ゲームでは、兵庫県に関するかるたなどの意見が出され、こちらはゲームを通じていかに兵庫の魅力が伝えられるかということを考えました。そして、パフォ

パフォーマンスでは先述の篠山でのお祭りで踊られているデカンショ祭りを来場者と踊ろうという意見を出し合いました。

このように、日本でしっかりと意見を練り上げた上で、HBCC で働き始めました。そこでさらに、アメリカ人のインターン生も混ぜながら私達の意見を聞いてもらいどのようなものがアメリカ人の興味をそそり、やる意義があるかについて深く議論しました（もちろん、英語で）。その結果、パネル展示は先述の通り、ゲームは兵庫に関する英語かるた、けん玉、こまをすることとなりました。パフォーマンスが場所の関係で実施できなかったことが唯一の心残りでした。

その後は、進むべき方向がある程度見えてきたことで、ひたすらブースでの展示の準備に取り掛かりました。具体的には、展示するパネルの作成、ゲームで使用するかるたの作成等です。これらも全て、アメリカ人インターン生に助言をもらいつつ、来てもらう方々が十分に理解してもらえるような説明を作るよう心がけました。また、子供も沢山ブースを訪れるということを知っていたので、けん玉やこまに関しては自分達自身が教えられるように練習しました（正直、これが一番ハードだったかもしれません笑）。このような形で準備を進め本番を迎えました。

いざ本番を迎えると、始めはなかなか人が集まらず、歩いている人に声をかけることにも臆していました。ただ、段々とブースに人が集まってきたことをきっかけに自分から積極的に歩いている人に声をかけるようにしました。殆どの方はブースで足を止めて話を聞いていただいたので嬉しかったです。日本に一度も来たことがない方から兵庫県に住んでいたことがあるという方まで様々な方がブースにお越しくださいました。皆さん一様に説明が丁寧で分かりやすかったというフィードバックをしていただいたので大変嬉しかったです。私自身としては、この Japan Fair のブースは大成功だったのではないかと思います。

私はこの経験を通して主に2つのことを学べたと思います。一つ目は、自分の意見をしっかりと持つことです。これは日本でも当たり前のことですが、いざ日本人以外の人と話す時、もしかしたらこのことを忘れてしまっている人も少なくないと思います。私は、アメリカ人のインターン生や HBCC のスタッフの方と話をしたときも、この Japan Fair で何をしたいかしっかりと伝え、自分の分からないことなどにはしっかりと説明してもらうように自分の思っていることをありのままに伝えました。言葉が違ってても、自分の意見を伝えることはその言葉が話せることよりも遥かに大事だと思います。もう一つは、やはり日本というブランドは強いということです。日本の文化は様々な面で欧米のそれとは真逆です。なので、アメリカ人と話すときでも、日本の文化について話すと興味を持って聞いてくれます。ただ、いくら自国の文化とはいえども何も知らないと話せません。自国の文化にも興味を持ち、英語で説明できるようにすることは一日でどうにかできるものでもないと思うので、日頃から自国の文化は日本語のみならず英語でも説明できるようにしておく外国にもすぐに興味を持ってもらえると思います。

最初は不安でいっぱいでしたが、HBCC のスタッフの方、同じく HBCC で働いたインターン生の方、このプログラムを実現してくださった国際交流課の方々、その他関わ

ってくださったすべての皆様のお陰で実りのあるインターンができました。将来この経験を活かせるように頑張りたいと思います。海外で何かしてみたい！と思った方は是非、挑戦してみてください！

